

# パート①

## お手本を書き写す

☆ 200字メソッドの基本の型に慣れるために、まずは書き写す練習から始めます。  
☆ 進め方は、次のとおりです。

このとおりに進めることで、200字メソッドの型をいち早く身につけられます。

- ① 〈お手本〉を一読する。
- ② 〈お手本〉の中に、型の区切りめを示す／（スラッシュ）と、接続語を示す○を書き加えながら再読する（「ポイント」に書かれたとおりの位置に書くこと。ただし、実際には一マス使わずに、マスとマスの境に書きこむこと）。
- ③ 暗唱するくらいまで何度も〈お手本〉を読む（音読または黙読）。
- ④ ここで初めて、〈お手本〉を書き写す（③で暗唱できた範囲は、見ないで書く）。
- ⑤ 書き写した文章の中に、先ほどと同様、／と○を書き加えながら、読み直す。

※声に出さずに読むこと

☆ 書き写す際、未習の漢字をひらがなに直すなどしてもかまいませんが、なるべくそのまま書くように努力しましょう（ひらがなが多すぎると、マスの数が不足します）。また、もともと薄く印刷されている文字がある場合は、なぞって書きましょう。



- ① 句点（。）と読点（、）は、それぞれ一マス使う。
- ② かぎ（かぎかっこ）「」も、それぞれ一マス使う（下図参照）。
- ③ ただし、句読点や「が行末にくるときは行頭に移さず、行末のマスに収めるか、そのマスの外に出す。
- ④ 段落の最初は一マス空ける。